

10 財 務

1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第一期目の決算を迎え財務諸表を作成しました。

公立大学法人の財務諸表は、企業会計原則を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、本法人の財政状態や運営状況を示したものです。

2 貸借対照表

貸借対照表は、平成24年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を表示したものです。

（資産の部）

資産の総額は、71億9千1百万円です。

うち、土地・建物等の固定資産が67億2千4百万円で資産全体の93.5%を占めています。また、高知県から出資または継承により取得した財産は、66億9千1百万円で総資産の93.0%となっています。

（負債の部）

負債の総額は、9億8千3百万円です。

うち、固定負債が7億1千1百万円で、負債全体の72.4%を占めますが、固定負債すべてが公立大学法人特有の会計処理による資産見返負債となっています。

資産見返負債は、特定の財源で償却資産を取得した場合に、減価償却処理による損益への影響を排除することを目的とし負債に計上するもので、支払義務のない会計上の負債です。

流動負債は2億7千1百万円のうち、主なものは、未払金2億4千万円で、そのうち退職金等の人件費が1億5千8百万円となっています。

（純資産の部）

純資産の総額は、62億8百万円です。

うち、資本金（高知県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△1億5千3百万円、利益剰余金が1億9千4百万円となっています。

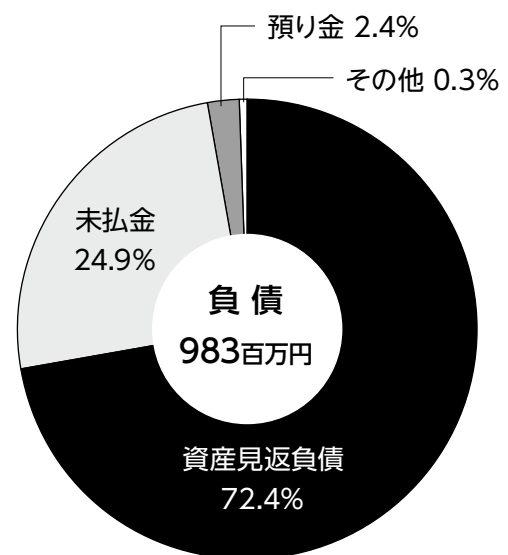
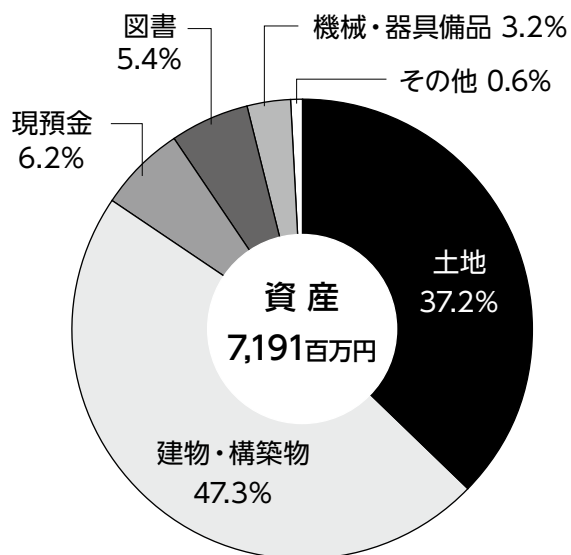
資本剰余金は、高知県から継承した未償却資産6百万円と、出資された建物の減価償却相当額である損益外減価償却累計額1億6千万円の差額となります。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,674	負債の部	固定資産	資産見返負債	711
			建物	3,343			小計	711
			構築物	60		流動負債	未払金	244
			機械装置	54			前受金等	1
			工具器具備品	174			預り金	23
			図書	391			その他	1
			車両運搬具	1			小計	271
			美術品・収蔵品	6			合計③	983
			小計	6,706		純資産の部	資本金	6,167
	無形固定資産	17	資本剰余金	△ 153				
	合計①	6,724	利益剰余金	194				
			合計④	6,208				
	流動資産	現金及び預金	445					
その他の流動資産		20						
合計②		466						
資産合計①+②		7,191	負債純資産合計③+④		7,191			

※百万円未満切り捨て



3 損益計算書

損益計算書は、当期（平成23年4月1日から平成24年3月31日）に発生した法人のすべての費用とそれに対応する収益、並びに収益から費用を差し引いた利益を表示し、法人の運営状況や収益構造を示す書類です。

（経常費用）

経常費用の総額は、23億3千万円です。

うち、業務費が21億7千7百万円、一般管理費が1億5千3百万円です。

業務費の内訳は、教育経費が2億3千2百万円、研究経費が1億6千9百万円、教育研究経費が2千9百万円、受託研究・事業費が8百万円、人件費が17億3千7百万円となっています。なお、人件費が経常費用に占める割合は、74.5%となっています。

（経常収益）

経常収益の総額は、25億2千3百万円です。

うち、高知県から交付を受けた運営費交付金の収益が16億9百万円、授業料・入学料・検定料等の収益が7億8千3百万円、受託研究・事業等の外部資金による収益が1千6百万円、資産見返負債戻入が7千3百万円、施設使用料や科学研究費補助金の間接経費等の雑益が3千9百万円となっています。

資産見返負債戻入は、公立大学法人特有の会計処理によるもので、減価償却処理による費用発生の都度、資産見返負債を取り崩して収益化する際に発生する会計上の収益です。

（経常利益）

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、1億9千2百万円です。

（臨時損益）

臨時損失は、1億9千8百万円です。

うち、高知県から承継した50万円未満の物品を償却したことによる消耗品費が1億9千4百万円、同じく高知県から承継した授業料未収債権への徴収不能引当金繰入額が4百万円です。

臨時利益は、2億円です。

うち、高知県から承継した50万円未満の物品受贈益が1億9千4百万円、同じく高知県から承継した授業料の未収債権が6百万円です。

臨時利益と臨時損失の差額により2百万円の利益が発生していますが、公立大学法人化に伴う本年度限りの特殊要因によるものです。

（当期総利益）

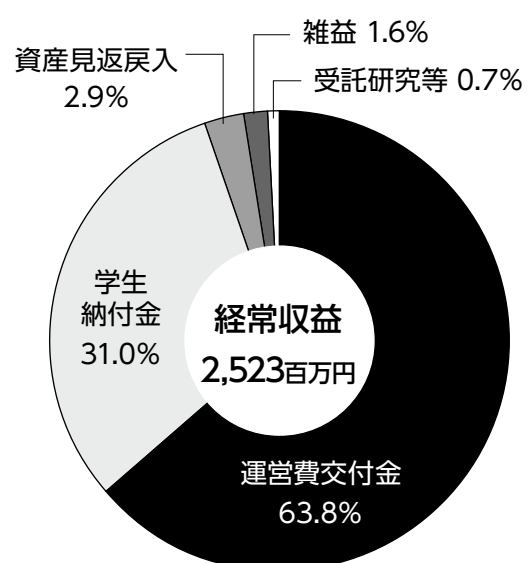
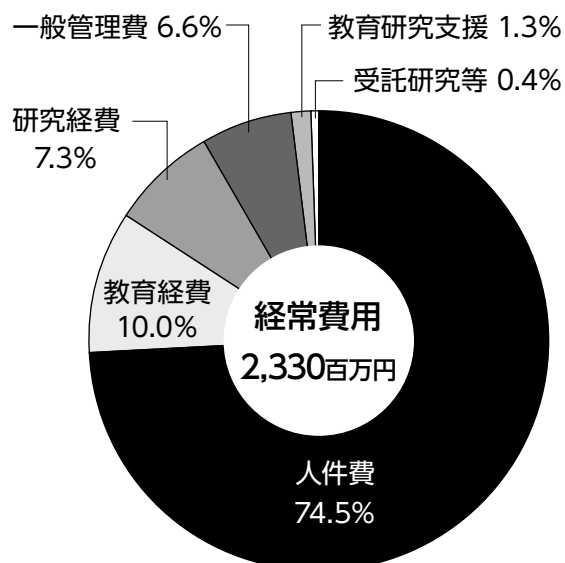
経常利益に、臨時利益と臨時損失を加算減算した平成23年度の当期総利益は、1億9千4百万となりました。これは貸借対照表の利益剰余金と一致しています。

損益計算書の概要

(単位:百万円)

経 常 費 用	業 務 費	教員経費	232	経 常 収 益	運営費交付金収益	1,609
		研究経費	169		授業料収益	666
		教育研究支援経費	29		入学料収益	79
		受託研究費等	5		検定料収益	37
		受託事業費	3		受託研究等収益	5
		役員人件費	19		受託事業等収益	3
		教員人件費	1,366		寄附金収益	0
		職員人件費	351		補助金等収益	7
		合 計	2,177		資産見返負債戻入	73
	一般管理費	153	その他		39	
合 計 ①	2,330	合 計 ⑦	2,523			
経常利益 ② (⑦-①)			192			
臨 時 損 失	徴収不能引当金繰入額		4	臨 時 利 益	物品受贈益	194
	消耗品費		194		債権受贈益	6
	合 計 ③		198		合 計⑧	200
臨時利益-臨時損失 ④ (⑧-③)			2			
費用合計 ⑤ (①+③)			2,529	収益合計 ⑨ (⑦+⑧)		2,724
当期総利益 ⑥ (⑨-⑤)			194			

※百万円未満切り捨て



4 その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

通常の事業活動により生じた資金の流れを示す業務活動によるキャッシュ・フローの収支差額4億6千6百万円から、投資活動によるキャッシュ・フローで表示される設備投資等により生じた支出合計2千1百万円を減算すると、資金期末残高は4億4千5百万円となります。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	466
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 294
	人件費支出	△ 1,579
	その他支出	△ 136
	運営費交付金収入	1,638
	学生納付金収入	758
	受託・補助金・寄附金収入	15
	その他収入	64
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金増加額	445
V	資金期首残高	0
VI	資金期末残高	445

※百万円未満切り捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。

利益の処分に関する書類（案）の概要

(単位:百万円)

I	当期末処分利益	194
	当期総利益	194
II	利益処分数額	194
	積立金	0
	目的積立金	194

※百万円未満切り捨て

③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、公立大学法人の運営上のコストのうち、県（住民）が負担している全コストを明らかにするものです。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務費用	1,715
	(1) 損益計算書上の費用	2,529
	(2) 自己収入等	△ 813
II	損益外減価償却相当額	160
III	引当外賞与増加見積額	8
IV	引当外退職給付増加見積額	15
V	機会費用	197
VI	行政サービス実施コスト	2,096

※百万円未満切り捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費補助金交付状況

【科学研究費補助金交付実績】

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H22		H23		H24～(予定)		総額(予定含む)		
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	
基盤研究A	看護	研究代表者	教授	野嶋佑由美	研究-実践の連携による家族に対する看護エンパワーメント介入の評価研究	新規	H22～24	9,100	2,730	3,260	2,370	13,040	25,400	5,100		
基盤研究A 小計								9,100	2,730	3,260	2,370	13,040	25,400	5,100		
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	山田 覚	災害看護支援ネットワークシステムの構築	継続	H21～23	1,300	390	1,193	360		2,493	750		
		研究代表者	教授	藤田 佐和	在宅移行するがん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開発	継続	H21～23	3,200	960	2,599	780		5,799	1,740		
		研究代表者	教授	中野 綾美	脳死による子どもの臓器移植に直面した家族の意志決定を支えるケアガイドラインの開発	継続	H22～24	3,700	1,110	1,900	570	3,600	9,200	1,680		
	文化	研究代表者	准教授	高西 成介	海城交流をキーワードとした中国通俗文芸の学術的研究	新規	H23～25			4,500	1,350	4,500	9,000	1,350		
基盤研究B 小計								8,200	2,460	10,192	3,060	8,100	26,492	5,520		
基盤研究C	文化	研究代表者	教授	清原 泰治	伝統的な地域スポーツイベントの記録とまちづくりのための活用に関する調査研究	継続	H21～23	600	180	500	150		1,100	330		
		研究代表者	講師	吉川 孝	現象学的倫理学としてのミュンヘン・ゲッティンゲン学派の研究	新規	H23～25			1,000	300	1,000	2,000	300		
	看護	研究代表者	准教授	大川 宣容	肺がん手術患者の身体感覚を基盤とした生活の広がりを支える看護援助モデルの開発	継続	H20～23		育休	900	270		900	270		
		研究代表者	教授	池田 光徳	線維芽細胞の上皮-間葉移行および間葉-上皮移行に基づいた強皮症の新規治療法	継続	H21～23	1,100	330	1,000	300		2,100	630		
		研究代表者	教授	畦地 博子	精神科看護におけるアカウンタビリティ向上のための教育プログラムの作成	新規	H22～24	1,000	300	1,100	330	1,200	3,300	630		
		研究代表者	教授	長戸 和子	患者家族と看護師のパートナーシップ形成のためのガイドラインの開発	新規	H22～24	2,000	600	471	150	1,000	3,471	750		
		研究代表者	准教授	田井 雅子	外来看護師による統合失調症を持つ人に対するセルフマネジメントのケアモデル作成	新規	H22～24	900	270	600	180	700	2,200	450		
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害の子どもと家族を支える養護教諭の共同支援プログラムの開発	新規	H23～25			1,500	600	1,300	2,800	600		
		研究代表者	教授	池田忠美子	訪問看護師の採用時教育プログラムの開発	新規	H23～25			1,200	360		転出	1,200	360	
		研究代表者	教授	時長 美希	アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築	新規	H23～25			1,300	390	1,300	2,600	390		
		研究代表者	教授	松本 鈴子	女性の出産に伴うトラウマ後の成長過程と看護者のケア提供モデルの構築	新規	H23～25			300	450	2,500	2,800	450		
		研究代表者	教授	森下 利子	治療期にあるがん患者へのホリスティックアプローチを基盤とするケアモデルの開発	新規	H23～25			700	210	700	1,400	210		
		研究代表者	教授	森下 安子	地域を基盤とした「地域病院協働型在宅移行支援システム」の開発とガイドラインの作成	新規	H23～25			1,800	540	900	2,700	540		
		研究代表者	講師	瓜生 浩子	高次脳機能障害者の家族のFamily Hardiness支援教育マニュアルの作成	新規	H23～25			1,800	540	1,200	3,000	540		
		研究代表者	助教	坂本 綾	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発	新規	H23～25			900	270	1,200	2,100	270		
		社会福祉	研究代表者	准教授	後藤由美子	生活支援職における異文化コミュニケーション教育研修プログラムの開発	継続	H21～23	1,100	330	900	270		2,000	600	
		生活科学	研究代表者	教授	杉原 俊二	うつ経験者の回復期支援法-百分史分析(4テーマ分析法)を用いた支援の効果	新規	H22～24	700	210	200	60	200	1,100	270	
研究代表者	准教授	三浦 要一	四国における戦前期の古社寺建造物の修理に関する研究	継続	H21～23	500	150	600	180		1,100	330				
基盤研究C 小計								7,900	2,370	16,771	5,550	13,200	37,871	7,920		
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	教授	竹崎久美子	高齢患者の在宅退院時におけるIADL支援と在宅移行促進のための看護援助	新規	H23～25	1,240	372	500	150	500	2,240	522		
	社会福祉	研究代表者	教授	宮上多加子	離職者を対象とした介護福祉士養成教育における成人学生の学びの構造	新規	H23～24	1,000	300	600	180	500	2,100	480		
挑戦的萌芽研究 小計								2,240	672	1,100	330	1,000	4,340	1,002		
研究活動スタート支援	文化	研究代表者	講師	辻上奈美江	湾岸諸国における女性の超国家的ネットワークとアイデンティティ構築に関する研究	継続	H22～23	1,240	372	1,140	342		2,380	714		
		研究代表者	助教	大坂 京子	認知症高齢者のBPSDの発症頻度・程度と「つながり感」との関連性	継続	H21～22	770	231	770	231		1,540	462		
		研究代表者	助教	小原 弘子	在宅移行期における訪問看護師の判断とケアに関するガイドラインの開発	継続	H22～23	1,000	300	280	84		1,280	384		
		研究代表者	教授	藤田 冬子	介護者のエンハンスメントプログラムにおけるファシリテーター養成プログラムの開発	新規	H23～24			1,300	390	1,200	2,500	390		
		研究代表者	准教授	内川 洋子	看護におけるチームワークコンピテンシー-中堅看護師に焦点をあてて	新規	H23～24			1,200	360	600	1,800	360		
		研究代表者	助教	石井 歩	女性若年がんサバイバーのボディイメージ変調への看護介入方法の開発	新規	H23～24			799	240	300	1,099	240		
		研究代表者	助教	辻 京子	「児童福祉士と保健師が連携した児童虐待リスクアセスメント活用方法」指針の開発	新規	H23～24			1,100	330		辞退	1,100	330	
		研究代表者	助教	畠山 卓也	精神科保護室の看護ケアに関する教育支援ガイドラインの作成	新規	H23～24			1,300	390	900	2,200	390		
研究活動スタート支援 小計								3,010	903	7,889	2,367	3,000	13,899	3,270		
若手研究B	看護	研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語における事象を修飾する形容詞の意味的特徴について	継続	H22～23	500	150	500	150		1,000	300		
		研究代表者	講師	升田 茂章	前立腺全摘出術後患者の排尿障害とセクシャルティに関する看護ケアガイドラインの開発	継続	H21～23	900	270	900	270		1,800	540		
		研究代表者	助教	高谷 恭子	慢性状態にある思春期の子どもと親が辿る軌跡のあり様を説明できるモデルの構築	継続	H22～24	900	270	900	270	500	2,300	540		
		研究代表者	助教	府川 晃子	安全と安心を護る外来化学療法患者の抗がん剤管理・防御のセルフケア支援指針開発	継続	H22～23	500	150	500	150		1,000	300		
		研究代表者	講師	石川 麻衣	行政保健師の健康増進計画推進活動モデルの開発	新規	H23～24			700	210	200	900	210		
		研究代表者	助教	井上 正隆	状況再現シミュレーションを用いたケアデザインの獲得を目的とした教育法の開発	新規	H23～25			1,700	510	1,000	2,700	510		
		研究代表者	助教	大坂 京子	BPSDを有する認知症高齢者の「つながり感」の測定道具の開発と実践への活用	新規	H23～24			700	210	600	1,300	210		
		研究代表者	助教	小澤 若菜	地域全体へ生活習慣病予防の動機づけを波及する保健師活動プログラムの開発	新規	H23～24			700	210	200	900	210		
	研究代表者	助教	首藤ひとみ	「医療的ケアの必要な子どもの親になる」プロセスを支援する看護介入の開発	新規	H23～24			1,700	510	1,300	3,000	510			
	社会福祉	研究代表者	准教授	西内 章	限界集落をつなぐ保健・医療・福祉ネットワークのアセスメント方法	継続	H22～24	400	120	400	120	300	1,100	240		
		研究代表者	講師	西梅 幸治	ストレス視点に基づく知的障害のある人との協働アセスメント方法の構築	継続	H22～24	900	270	900	270	1,700	3,500	540		
		研究代表者	講師	鈴木 孝典	精神障害者グループホームにおける支援評価モデルの開発的研究	継続	H22～24	800	240	800	240	1,000	2,600	480		
研究代表者		講師	福岡 隆康	サービスの質を規定するモデル構築に関する研究	新規	H23～24			500	150	500	1,000	150			
研究代表者	講師	上白木悦子	判断能力を欠く在宅患者の終末期医療関係者の治療方針についての意識的分析	新規	H23～24			1,640	600	1,660	3,300	600				
健康栄養	研究代表者	助教	新藤こすえ	知的障害のある「若者」の離家と家族形成に関する研究	新規	H23～24			1,100	330		転出	1,100	330		
研究代表者	助教	古川 弘子	入院患者における高カリウム血症の頻度とリスク要因に関する研究	継続	H22～23	500	150	500	150	500	1,500	300				
若手研究B 小計								5,400	1,620	14,140	4,350	9,460	29,000	5,970		
合 計								33,610	10,083	52,252	17,697	46,800	132,662	27,780		

※ 平成23年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

【平成23年度 科学研究費受託件数】

	研究種目名	状況	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	生活科学部	計
新規件数	基盤研究（B）（一般）	応募数	3	0	0	0	1	4
		採択数	1	0	0	0	0	1
		採択率	33.3%	—	—	—	0.0%	25.0%
	基盤研究（C）（一般）	応募数	4	15	2	1	1	23
		採択数	1	8	0	0	0	9
		採択率	25.0%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	39.1%
	挑戦的萌芽研究	応募数	0	1	1	4	0	6
		採択数	0	1	1	0	0	2
		採択率	—	100.0%	100.0%	0.0%	—	33.3%
	若手研究（B）	応募数	1	7	3	2	0	13
		採択数	0	5	2	0	0	7
		採択率	0.0%	71.4%	66.7%	0.0%	—	53.8%
	研究活動スタート支援	応募数	1	8	2	0	0	11
		採択数	0	5	0	0	0	5
		採択率	0.0%	62.5%	—	—	—	45.5%
合計	応募数	9	31	8	7	2	57	
	採択数	2	19	3	0	0	24	
	採択率	22.2%	61.3%	37.5%	0.0%	0.0%	42.1%	
継続	件数	4	13	6	1	1	25	
合計	件数	6	32	9	1	1	49	

(2) 【中国・四国広域がんプロ養成プログラム】

●事業目的

中国・四国地方の8大学大学院とがん診療連携拠点病院が協力し、高度な技術のみならず、チームとしてがん診療を行うことができる専門職医療人を養成する。

岡山大学は主管校として事務局を置き、各大学を取り纏める。各大学は専門性を生かし各種コースワークの幹事校として他大学と連携してカリキュラムを編成、改善する。

各大学の名称と担当は次の通り。

- ・岡山大学（主管校）・・・がん薬物療法、放射線治療
- ・愛媛大学・・・がん薬物療法
- ・香川大学・・・緩和療法
- ・山口大学・・・腫瘍外科
- ・高知県立大学・・・がん看護専門看護師
- ・徳島大学・・・医学物理士、がん専門薬剤師、栄養管理士
- ・高知大学・・・在宅がん医療
- ・川崎医科大学・・・がん医療の生涯教育

年度	研究者			研究期間	事業内容	交付金額 (千円)
	学 部	職 名	氏 名			
H19	看護学部	教 授	齋藤 信也	H19.9.6) H20.3.31	・大学院カリキュラムの策定 ・eラーニング準備 ・がん看護インテンシブコースの実施(1回) ・大学院広報活動	3,023
		教 授	藤田 佐和			
		教 授	森下 利子			
H20	看護学部	教 授	齋藤 信也	H20.7.8) H21.3.31	・3大学院合同セミナーの実施(1回) ・がん看護CNSセミナーの実施(7回) ・大学院カリキュラムの策定 ・eラーニング準備 ・がん看護インテンシブコースの実施(5回)	7,192
		教 授	藤田 佐和			
		教 授	森下 利子			
H21	看護学部	教 授	藤田 佐和	H21.6.15) H22.3.31	・3大学院合同セミナーの実施(2日間) ・がん看護CNSセミナーの実施(7回) ・チーム医療セミナーの実施(13回) ・がん看護専門看護師コースWG講演会・研修会の実施(5回) ・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(5回) ・大学院の広報活動・カリキュラムの策定	7,591
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			
H22	看護学部	教 授	藤田 佐和	H22.5.18) H23.3.31	・3大学院合同セミナーの実施(2日間) ・がん看護CNSセミナーの実施(5回) ・チーム医療セミナーの実施(7回) ・がん看護専門看護師コースWG講演会・研修会の実施(5回) ・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(6回) ・大学院の広報活動・カリキュラムの策定	8,235
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			
H23	看護学部	教 授	藤田 佐和	H23. 4.1) H24.3.31	・3大学院合同セミナーの実施(2日間) ・がん看護CNSセミナーの実施(7回) ・チーム医療セミナーの実施(7回) ・がん看護専門看護師コースWG講演会の実施(2回) ・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(3回) ・大学院の広報活動・カリキュラムの策定	8,235
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			

(3) 【「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」による大学の教育力向上(戦略的大学連携支援事業)】

1 概要 (平成23年度)

事業目的	学生に質の高い教育等を提供するため、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)」を立ち上げ、四国地区の大学に関わる全教職員の能力向上を図る。
加盟校	愛媛大学(代表校)、徳島大学、高知大学、高知女子大学、高知工科大学 四国大学、聖カタリナ大学、松山大学、松山東雲大学 今治明德短期大学、愛媛女子短期大学 高知学園短期大学、高知工業高等専門学校ほか33校
研究期間	平成23年4月1日から平成24年3月31日
負担金	175千円
事業内容	●新任教員向けの研修や転職・キャリア支援SD研修会など、SPODで開発した様々な研修などに積極的に参加した。 ●SPODフォーラム参加等により、他大学の教職員との交流・情報交換を行った。 ●FD・SDに対する大学内の意識の共有化を図った。

(4) 奨学寄附金受入状況 (※ 平成15年度から実施)

平成 15 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	4,500,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
3	社会福祉学 部	助教授	住友 雄資	590,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		3件		5,590,000		

平成 16 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	17,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	-	学 長	青山 英康	1,000,000	高知女子大学教職員組合	高知女子大学における教育研究の奨励
3	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
4	生活科学部	教 授	佐藤 厚	300,000	有限会社 創友	ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験
5	生活科学部	助 手	川口 順子	300,000	財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について
6	社会福祉学 部	助教授	住友 雄資	210,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		6件		2,327,000		

平成 17 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 18 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 19 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 20 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	500,000	井上石灰工業(株)	トマトの含有する機能性 についての研究
合計		1件		500,000		

平成 21 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	240,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	高齢者の転倒防止に向 けた実態調査
2	生活科学部	教 授	川村 美笑 子	500,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	「深層水由来新素材ミネ ラルを活用した高齢者向 け摂食・嚥下食の開発」 に関する研究
3	生活科学部	准教授	清水 扶美	250,000	日本農産 (株)	食育及びヨード卵の機能 性の検討
合計		1件		990,000		

平成 22 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 23 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	健康栄養 学 部	教 授	渡邊 浩幸	1,500,000	株式会社ファンケル	PSGなどの食品因子の 生物活性測定とその技 術移管
合計		1件		1,500,000		

(5) 受託研究費受入状況

(単位:円)

H17	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成17年4月28日～ 平成18年3月24日
2	生活科学部	教授	佐藤 厚	2,518,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	高知県地域研究開発促進拠点支援事業 題目:高齢者転倒予防のための 機器開発及びその製品化	平成17年7月1日～ 平成18年2月28日
合計			2件	4,818,000			

H18	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成18年5月23日～ 平成19年3月23日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,367,850	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成18年11月7日～ 平成19年3月12日
4	生活科学部	教授	佐藤 厚	1,900,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	呼吸にシンクロした胸郭周径の リアルタイム測定機器の開発	平成18年10月13日～ 平成19年3月30日
合計			4件	10,951,750			

H19	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,913,000 (うち間接 613,000円)	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成19年5月31日～ 平成20年3月10日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	2,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「シーズ発掘試験」 題目:「非結球アブラナ科葉菜類(ブ チペール)の出荷規格外及び廃棄 部位の有効利用を目指した機能的 食品素材の開発」	平成19年7月13日～ 平成20年3月31日
4	生活科学部	教授	川村美笑子	1,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「研究成果実用化検 討(FS)」 題目:室戸海洋深層水由来新素材ミ ネラルの特性を活用した高齢者向け ソフト食の開発	平成19年12月10日～ 平成20年3月31日
合計			4件	10,296,900			

H20	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	3,450,000	(株)ファンケル	題目:発芽米由来ASGの糖・脂 質代謝異常及び老化に伴う代謝 障害の改善効果の検討	平成20年6月26日～ 平成21年7月31日
2	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 200,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	クライアントの病状ステージに応じた 新しい血糖コントロール食品の開発	平成20年8月12日～ 平成21年3月31日
合計			2件	5,450,000			

(単位:円)

H21	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 330,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	ストレスが惹起する疲労を予防 する食品の開発	平成21年7月27日～ 平成22年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	5,979,518	文部科学省高等教育局	看護系大学におけるモデル・コア・カ リキュラム導入に関する調査研究	平成21年8月10日～ 平成22年3月31日
合計		2件		7,979,518			

H22	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	3,000,000	株式会社ファンケル	慢性炎症反応が行動に及ぼす影 響の解明と改善方向の検索に関 する研究	平成22年5月6日～ 平成23年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	7,993,400	文部科学省	看護系大学におけるモデル・コアカ リキュラム導入に関する調査研究	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
合計		件		10,993,400			

H23	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	5,500,000	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
合計		件		5,500,000			

6 学長特別粋助成事業の状況

【学長特別粋助成事業実績（平成23年度）】

（単位：千円）

	事業内容	助成費	備考
大学改革経費	法人化記念講演会	3,000	
	教務システム改善費	7,200	
小 計		10,200	
災害プロジェクト	県民講座の開催	300	
	「コミュニティー支援力養成研修会」への学生参加支援	167	
	永国寺キャンパス夜間時避難用懐中電灯設置	74	
	災害関係学習会等への参加	124	
	東日本における中小企業の復興現況調査	106	
小 計		771	
産学官プロジェクト	「ふるさと祭り東京2012」への参加	330	
	「社会人基礎力育成グランプリ2012」決勝大会出場	490	
	研究（光パルスによるサーカティアン・リズム調整のリセットが、植物体表現体および生成物に与える影響）	990	
	にわか学会第14回大会研究集会	394	
小 計		2,204	
土佐市プロジェクト	土佐市の特定健康診査の受診率向上	589	
	土佐市小中学生の健康調査	402	
小 計		991	
学科主催への支援	第31回日本看護科学学会学術集会	500	
小 計		500	
合 計		14,666	